

令和6年11月11日

豊田市議会議長 羽根田 利明 様

議会運営委員長

北川 敏崇



委員派遣実施報告書

本委員会は、下記のとおり委員派遣を実施しましたので、豊田市議会委員会条例第37条第1項の規定により、報告書を提出します。

記

- 1 派遣期間 令和6年11月6日（水）から同月7日（木）まで
- 2 派遣場所 6日（水）兵庫県姫路市 議会広報・議会改革の取組
及び内容 7日（木）大阪府八尾市 議会広報の取組
- 3 派遣委員 委員長 北川 敏崇
副委員長 大石 智里
委員 岡田 耕一 木本 文也 浅井 保孝
塩谷 雅樹 岩田 淳 水野 博史
日當 浩介 石川 嘉仁
- 4 報告内容 視察報告書のとおり
- 5 随行者 伊藤 清人、西村 達哉

視察報告書【1】

委員会名	令和6年度 議会運営委員会	委員名	北川 敏崇
視察日時	令和6年11月6日（水）午後1時00分～午後2時30分		
視察先・概要	兵庫県 姫路市 兵庫県姫路市 人口：519,390人（R06.10.3現在） 面積：534.35km ²		
視察内容	議会広報・議会改革の取組		
選定理由	姫路市議会では、こども議会、高校生議会や座談会などを実施しており、議会だよりの制作においては令和5年度議会報コンクールで優秀賞を獲得し、開かれた議会に向けた工夫した取組を行っている。また、条例や会議規則等の改正を行っており、数多くの議会改革・活性化に取り組んでいる。		
豊田市の現状と課題	本市議会においては、昨年度初めて若者との意見交換会を実施し、今年度は新たに市内の杜若高等学校との意見交換会を実施するが、若年層への開かれた議会に向けた取組は発展途上であり、姫路市議会の取組を調査し、そこから得られる効果や課題を視察することで、本市議会のさらなる議会改革及び活性化に資するものとする。		
視察概要	<ul style="list-style-type: none"> (1) 高校生議会、座談会について (2) 議会だよりの制作について (3) 条例や会議規則の改正等による議会改革 		
評価とその理由	<p>市民に市議会をより身近に感じてもらうとともに、市議会に関心を高めてもらうために、市議会の基本的なことをしってもらうきっかけとして、PR動画「8分でわかる姫路市議会のしくみ」の制作している。</p> <p>視察時に実際に動画を拝見したが、学生が出演し、議員と共に意見交換を行う様子などが多く映っており、主権者教育の一環としても市民に対する議会の関心を高めようとする工夫が見られ、動画にするという着眼点は評価できる。</p> <p>平成28年6月施行の選挙権年齢引下げに関する公職選挙法が改正されたタイミングで、早急に若者に興味を持ってもらえる取組について動き出したことが評価できる。</p>		
本市に反映できること	<p>市議会PR動画の制作は、市議会に関心を持ってもらうために本市としても必要だと感じた。</p> <p>学生との意見交換会においては、高校生議会方式よりも座談会方式の方が学生に加え出席議員からも好評であることが分かり、今後本市が行う学生との意見交換会においても参考にしていきたい。</p> <p>学生との意見交換会は一過性ではなく継続することに大きな意味があることを改めて認識することができた。</p> <p>市議会だよりに議員紹介欄を掲載しており、議会活動以外の議員の一面も見られるようにユニークに掲載する手法は大変に参考になった。</p>		

【11月6日（水）姫路市議会視察の様子】



視察報告書【2】

委員会名	令和6年度 議会運営委員会	委員名	北川 敏崇
視察日時	令和6年11月7日（木）午前10時30分～午後0時00分		
視察先・概要	大阪府 八尾市 大阪府八尾市 人口：259,499人（R06.9.30現在） 面積：41.72km ²		
視察内容	議会広報の取組		
選定理由	八尾市議会では、議会報コンクールにおいて令和5年度に優秀賞を受賞しており、誰もが読みやすい広報誌を目指した工夫が凝らされている。また、市議会×高校生プロジェクトという平成29年度から高校生とコラボした取組や、議員に対するアンケートの実施や意見交換会など積極的に議会改革に生かせる活動を続けている。		
豊田市の現状と課題	本市議会においては、議会だより編集委員会を中心にとよた議会だよりのリニューアルを進めており、八尾市議会による議会報の制作過程等における工夫点を調査することで、これまで以上に市民が読みたいと思える議会だよりの制作に資するものとする。		
視察概要	(1) 議会だよりについて (2) 公式SNSの開設について		
評価とその理由	議会だよりの編集作業において、事務局が複数の編集ソフトを使用し、紙面のデザインから記事内容等を制作し、印刷のみ業者へ委託しており、制作技術のノウハウ継承がうまくできている点に評価できる。 八尾市独自の議会ポスターを制作しており、ポスターデザインは議会の固いイメージがない斬新なものが多く、これなら年齢問わず多くの人の目につくであろうと感じた。		
本市に反映できること	市議会×高校生プロジェクトの取組や、高校生の部活の活動写真などを表紙として採用しており、加えて表紙に参加した学生に対するインタビューを議会だより編集委員である議員自身が実施し、裏表紙に記事として掲載するアイデアは、本市においても「学生が手に取る議会だより」の手法として参考になると感じた。 議会だよりの編集・制作作業においては、事務局内製で行う重要さもある反面、より良い市議会だよりの制作を継続させるため、長期的な視点で考えると、どれほど職員に対して事務工数がかかるのかといった事務負担も精査し、慎重に検討する必要があると感じた。		

【11月7日（木）八尾市議会視察の様子】

